

平成28年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には、受注量は前回調査に続いて増加傾向で堅調に推移。
今後の受注見通しについても僅かながら増加の見込み。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全業種で前期より増加。金属製品、電気機器、樹脂製品で顕著。
- (2)受注見通し : 全体的にやや増加。精密機器が増加の見込み。
- (3)受注単価 : 上昇が僅かに増えているがほとんど変化がない。精密機器で2割超の企業が低下。
- (4)資金繰り : 好転が僅かに増えているがほとんど変化がない。輸送用機器で前回よりやや悪化。
- (5)採算状況 : やや改善傾向。全業種で「黒字」が「赤字」を上回る。
- (6)受注余力 : 「受注余力なし」が微増も、鉄鋼・非鉄、電気機器で7割超が「余力あり」。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョ・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成28年10月～12月
(平成28年12月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

| | | | |
|-----------|-----|----------|-----|
| ① 鉄鋼・非鉄関係 | 35社 | ② 金属製品関係 | 45社 |
| ③ 一般機器関係 | 45社 | ④ 電気機器関係 | 45社 |
| ⑤ 輸送用機器関係 | 35社 | ⑥ 精密機器関係 | 40社 |
| ⑦ 樹脂製品関係 | 40社 | | |

(3) 調査時点

平成28年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

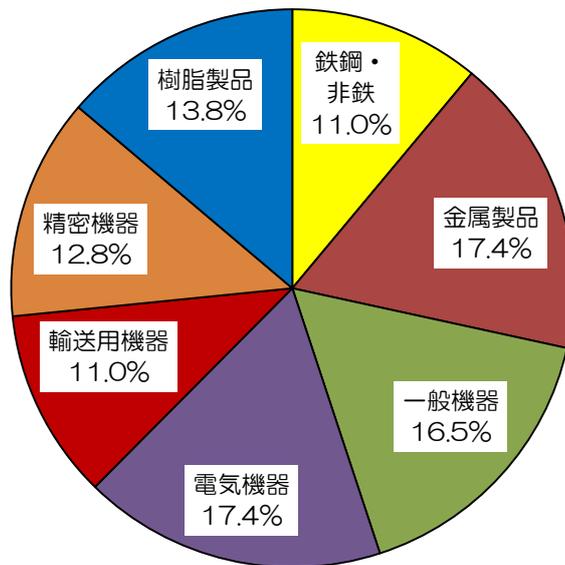
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

| | | | |
|-----------|-------|-----------|--|
| ① 調査対象企業数 | 285社 | | |
| ② 回答企業 | 218社 | | |
| ③ 内訳 | | | |
| 鉄鋼・非鉄関係 | 24社 | (11.0%) | |
| 金属製品関係 | 38社 | (17.4%) | |
| 一般機器関係 | 36社 | (16.5%) | |
| 電気機器関係 | 38社 | (17.4%) | |
| 輸送用機器関係 | 24社 | (11.0%) | |
| 精密機器関係 | 28社 | (12.8%) | |
| 樹脂製品関係 | 30社 | (13.8%) | |
| ④ 回答率 | 76.5% | | |

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 個人 | 6 2.8% | 1 4.2% | | | 2 5.3% | | | 3 10.0% |
| ~300万円 | 14 6.4% | | 3 7.9% | | 1 2.6% | 4 16.7% | 3 10.7% | 3 10.0% |
| 301~999万円 | 10 4.6% | 1 4.2% | 1 2.6% | | | 3 12.5% | 2 7.1% | 3 10.0% |
| 1000~2000万円 | 123 56.4% | 12 50.0% | 28 73.7% | 23 63.9% | 23 60.5% | 6 25.0% | 16 57.1% | 15 50.0% |
| 2001~5000万円 | 47 21.6% | 7 29.2% | 6 15.8% | 11 30.6% | 9 23.7% | 5 20.8% | 4 14.3% | 5 16.7% |
| 5000万円超 | 18 8.3% | 3 12.5% | | 2 5.6% | 3 7.9% | 6 25.0% | 3 10.7% | 1 3.3% |
| 合 計 | 218 100% | 24 100% | 38 100% | 36 100% | 38 100% | 24 100% | 28 100% | 30 100% |

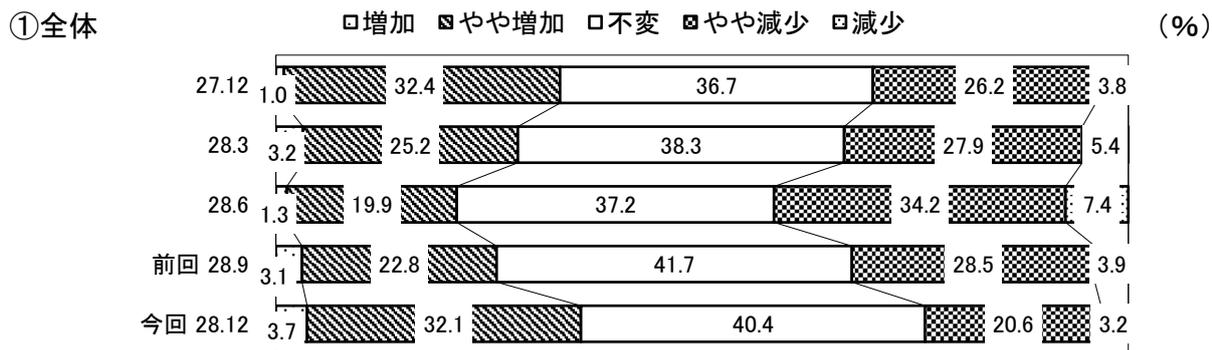
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

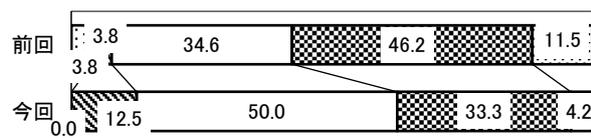
| | 全 体 | 鉄鋼・非鉄 | 金属製品 | 一般機器 | 電気機器 | 輸送用機器 | 精密機器 | 樹脂製品 |
|--------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 1~5人 | 18 8.3% | 8 33.3% | | 2 5.6% | 2 5.3% | 4 16.7% | | 2 6.7% |
| 6~10人 | 27 12.4% | 3 12.5% | 2 5.3% | 2 5.6% | 3 7.9% | 5 20.8% | 6 21.4% | 6 20.0% |
| 11~20人 | 64 29.4% | 4 16.7% | 16 42.1% | 14 38.9% | 8 21.1% | 3 12.5% | 9 32.1% | 10 33.3% |
| 21~30人 | 32 14.7% | 3 12.5% | 11 28.9% | 5 13.9% | 5 13.2% | 1 4.2% | 3 10.7% | 4 13.3% |
| 31~50人 | 31 14.2% | 4 16.7% | 4 10.5% | 5 13.9% | 7 18.4% | 4 16.7% | 4 14.3% | 3 10.0% |
| 51人以上 | 46 21.1% | 2 8.3% | 5 13.2% | 8 22.2% | 13 34.2% | 7 29.2% | 6 21.4% | 5 16.7% |
| 合 計 | 218 100% | 24 100% | 38 100% | 36 100% | 38 100% | 24 100% | 28 100% | 30 100% |

3. 調査結果

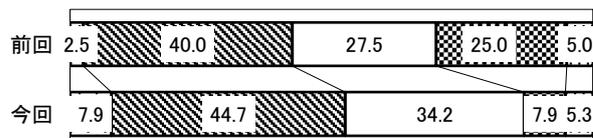
(1) 受注量について



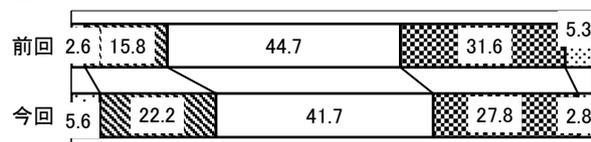
②鉄鋼・非鉄



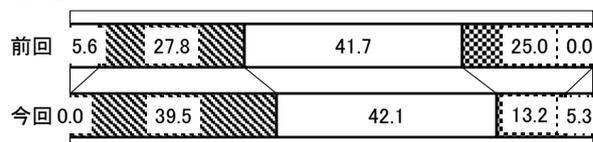
③金属製品



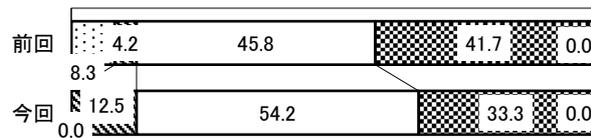
④一般機器



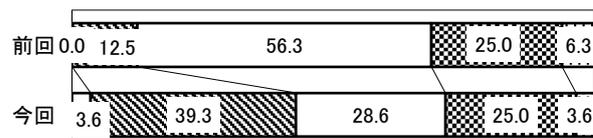
⑤電気機器



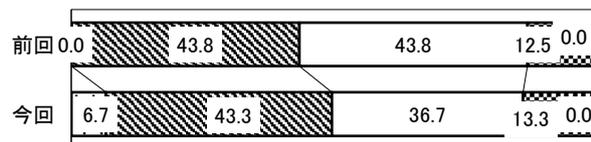
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



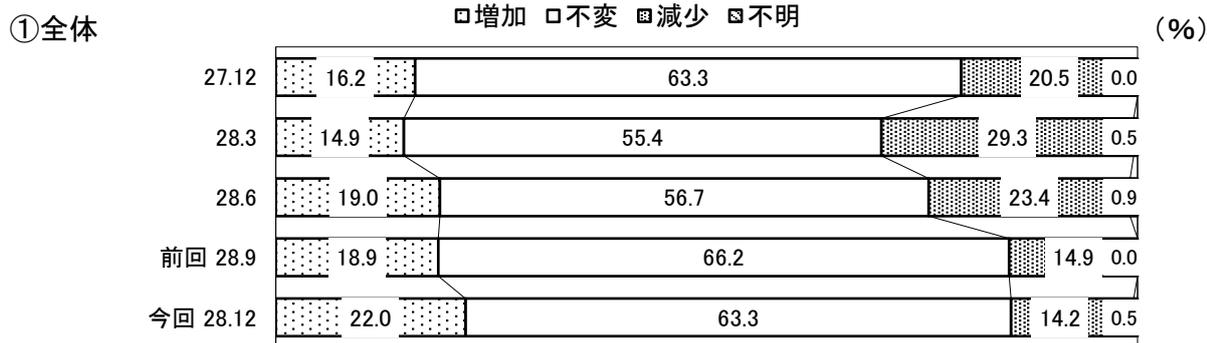
○全体

・10月～12月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は12.0となり、前期（7月～9月期）のD I値▲6.5と比べ18.5ポイント上昇、2期連続となり受注量は増加傾向である。

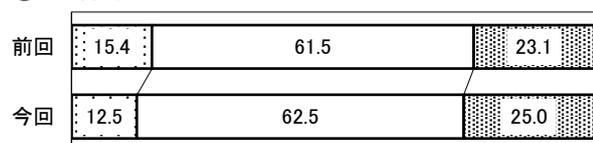
○業種別

・業種7分類中、D I値は、金属製品（39.4）、電気機器（21.0）、樹脂製品（36.7）で前回と同様プラス。今回は精密機器（14.3）でもプラスとなっている。
 ・D I値を前期と比較すると、マイナス値となった鉄鋼・非鉄、一般機器、輸送用機器でも前回より数値は上がっており、全業種で上昇の結果となった。
 ・特に、鉄鋼・非鉄で▲50.1から▲25.0と25.1ポイントの上昇、金属製品で前期12.5から39.4と26.9ポイント上昇、精密機器で▲18.8から14.3と33.1ポイント上昇と大きな変化が見られる。

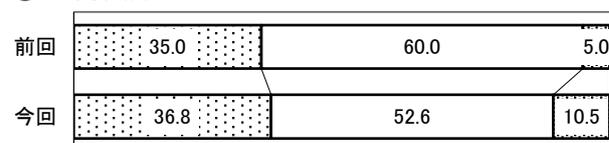
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



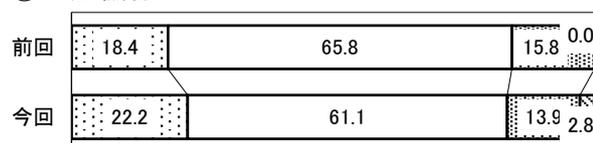
②鉄鋼・非鉄



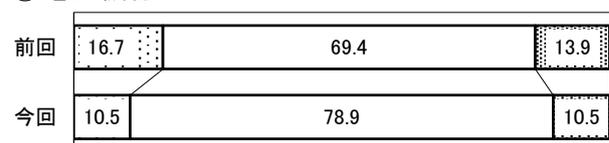
③金属製品



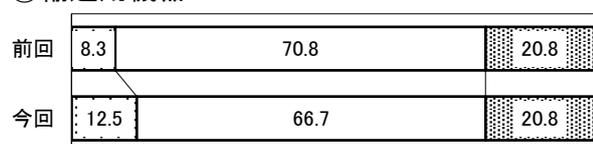
④一般機器



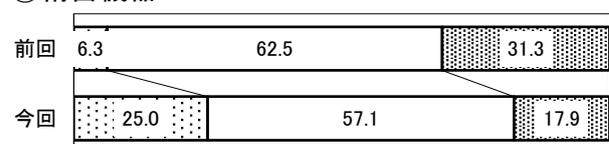
⑤電気機器



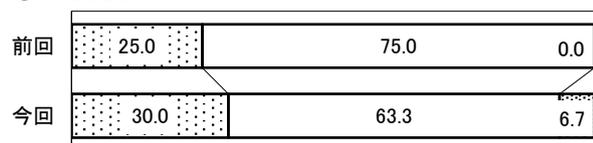
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期 (4月~6月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は7.8となり、前期調査時のD I 値4.0と比べ3.8ポイント上昇し、受注量の見通しは僅かながら増加とする回答の割合が増えている。

○業種別

・業種7分類中D I 値がプラスであったのは金属製品 (26.3)、一般機器 (8.3)、精密機器 (7.1)、樹脂製品 (23.3) の4業種で、鉄鋼・非鉄 (▲12.5)、輸送用機器 (▲8.3) の2業種はマイナス、電気機器は±0であった。

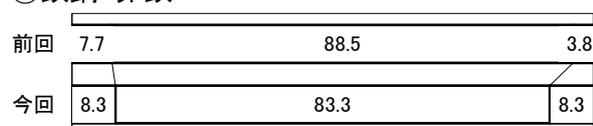
・D I 値を前期と比較すると、一般機器で2.6から8.3 (5.7)、輸送用機器で▲12.5から▲8.3 (4.2)、精密機器で▲25.0から7.1 (32.1) と3業種で上昇。

・一方、鉄鋼・非鉄で▲7.7から▲12.5 (▲4.8)、金属製品で30.0から26.3 (▲3.7)、電気機器2.8から0 (▲2.8)、樹脂製品25.0から23.3 (▲1.7) の4業種で低下しているが、精密機器の32.1ポイント上昇を除いては、「上昇」「低下」とも動きは小さい。

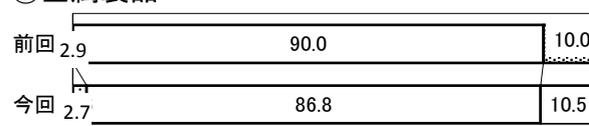
(3) 受注単価について



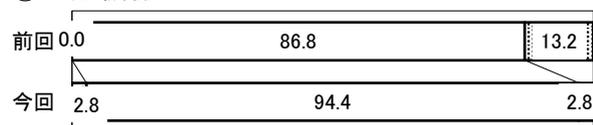
②鉄鋼・非鉄



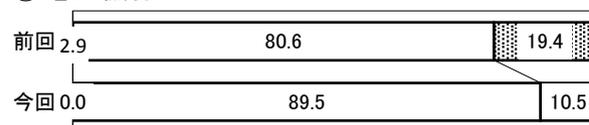
③金属製品



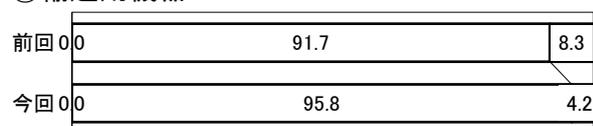
④一般機器



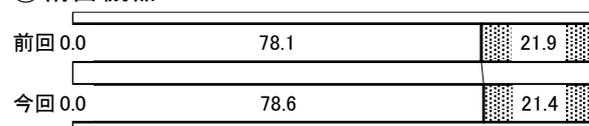
⑤電気機器



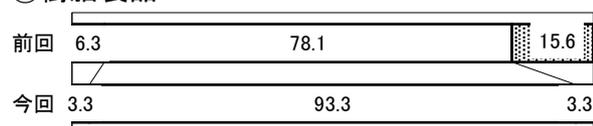
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.4となり、前期（7月～9月期）のD I値▲11.4と比べて5.0ポイント増加と若干の改善が見られた。

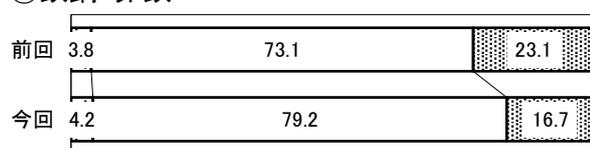
○業種別

- ・7業種中、D I値がプラスの業種はなく、金属製品（▲7.9）、電気機器（▲10.5）、輸送用機器（▲12.5）、精密機器（▲21.4）の4業種でマイナス、鉄鋼・非鉄、一般機器、樹脂製品はいずれも±0であった。
- ・D I値を前期と比較すると、前回唯一D Iがプラスであった鉄鋼・非鉄だが、今回は▲3.9と唯一前期比マイナスとなった。
- ・電気機器、輸送用機器、精密機器では、前回同様「上昇」の回答は0であった。

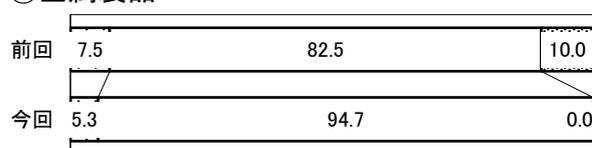
(4) 資金繰りについて



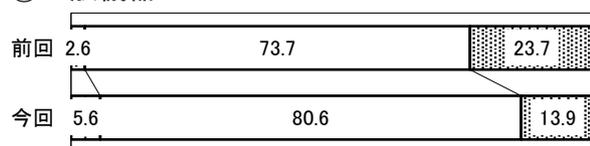
②鉄鋼・非鉄



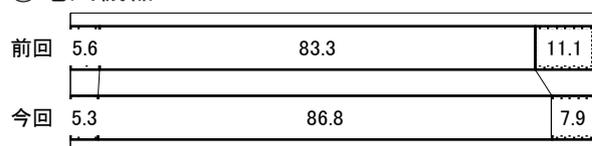
③金属製品



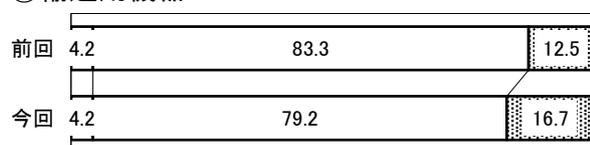
④一般機器



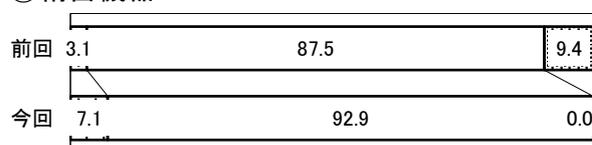
⑤電気機器



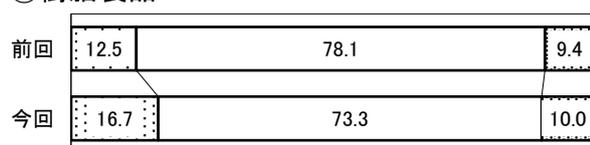
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

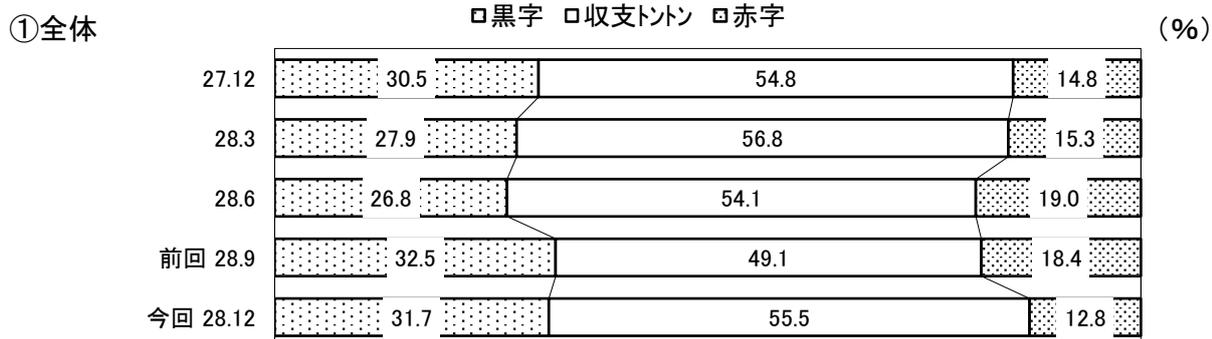
・10月～12月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲1.8となり、前期（7月～9月期）のD1▲8.3と比べて6.5ポイント上昇した。

○業種別

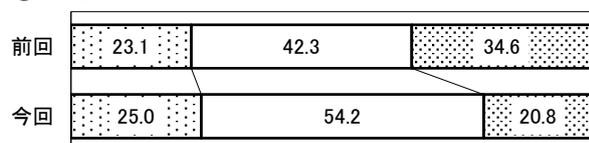
・業種7分類中D1値がプラスであったのは、金属製品（5.3）、精密機器（7.1）、樹脂製品（6.7）の3業種。鉄鋼・非鉄（▲12.5）、一般機器（▲8.3）、電気機器（▲2.6）、輸送用機器（▲12.5）の4業種でマイナスとなっている。

・D1値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（6.8）、金属製品（7.8）、一般機器（12.8）、電気機器（2.9）、精密機器（13.4）、樹脂製品（3.6）の6業種で上昇しており、唯一、輸送用機器だけが▲4.2ポイントと僅かながら低下している。

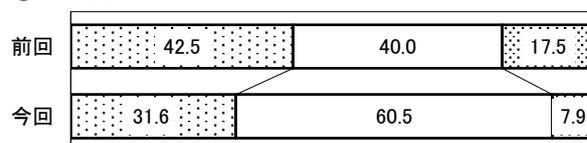
(5) 採算状況について



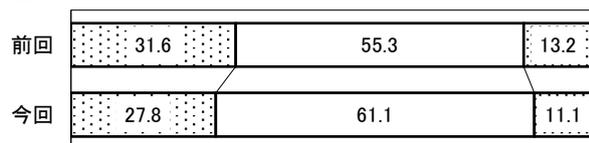
②鉄鋼・非鉄



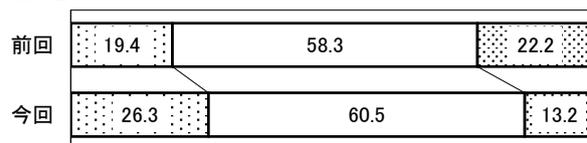
③金属製品



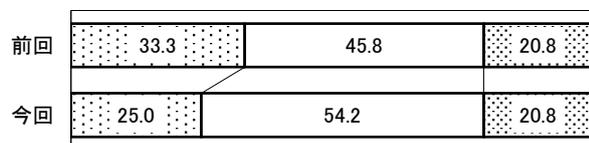
④一般機器



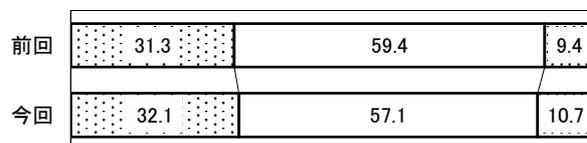
⑤電気機器



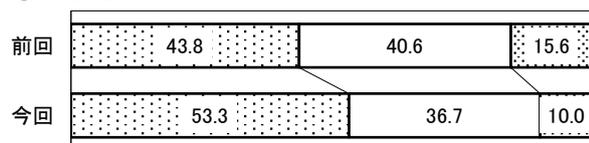
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は18.9となり、前期（7月～9月期）のD I 14.1と比べ4.8ポイント上昇した。

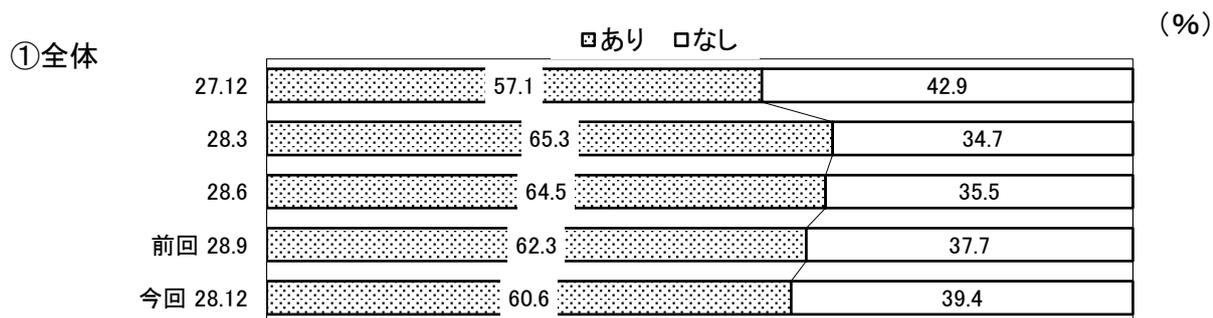
○業種別

・業種7分類のすべてでD I値はプラスとなっており、鉄鋼・非鉄（4.2）、金属製品（23.7）、一般機器（16.7）、電気機器（13.1）、輸送用機器（4.2）、精密機器（21.4）、樹脂製品（43.3）となった。

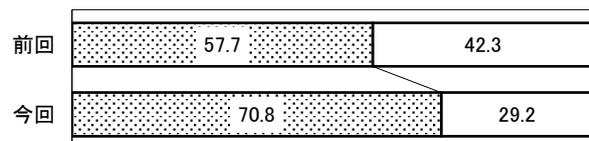
・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄で▲11.5から4.2と15.7ポイントの改善が見られたが、輸送用機器とともに、依然として2割を超える企業が「赤字」としている。

・前回「黒字」の多かった樹脂製品だが、今回はさらに増え、半数を超える企業が「黒字」との回答であった。

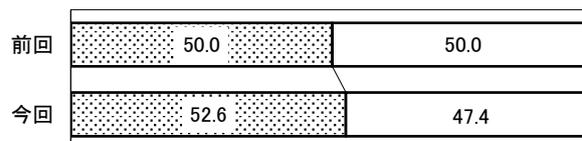
(6) 受注余力について



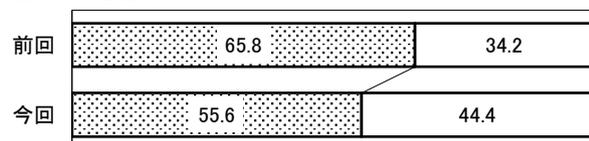
②鉄鋼・非鉄



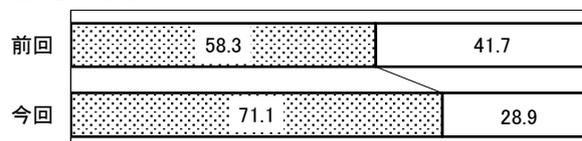
③金属製品



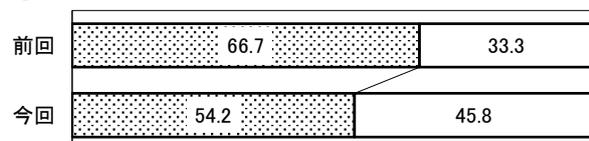
④一般機器



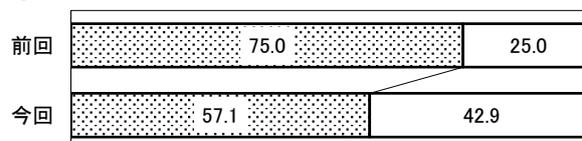
⑤電気機器



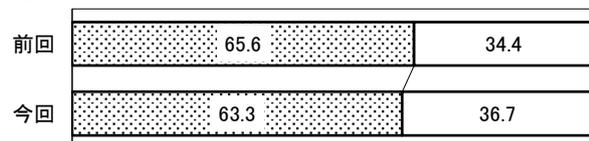
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・10月～12月期は「受注余力なし」とする企業が39.4%と、前期と比較して1.7ポイントの増加となった。

○業種別

- ・全7業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。
- ・金属製品が「受注余力なし」47.4%と、前々回、前回に続き全業種の中で最も余力割合が少ない。
- ・前期と比較すると、一般機器、輸送用機器、精密機器では、「受注余力なし」が10ポイント以上増えている。
- ・逆に、鉄鋼・非鉄と電気機器で「受注余力あり」が大きく増加しており、それぞれ70.8%、71.1%と7割を越している。
- ・金属製品、樹脂製品については、増減は少ない。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp